

夏バテで体調を崩されてはいませんか。まだまだ残暑が厳しい季節ですが、体をいたわりながら過ごしてくださいね。今回『図書館をめぐる郷土～八尾市史編～』でご紹介するのは八尾小学校の敷地内にある木造の建物。道路からフェンス越しに見えるので一度目にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。あの建物は『環山楼』といい、建てられたのはなんと江戸中期。どんな歴史があるのでしょうか。

シリーズ
図書館をめぐる郷土
～八尾市史編～

第三十回 『環山楼』

八尾小学校の前を通ると、敷地内に木造の古い建物が見えます。建物の名前は『環山楼』といい、江戸時代中期に設けられた郷塾です。郷塾とは、藩あるいは民間の有志がお金を出し合って庶民の教育のために作った学問所のことです。江戸時代中期には日本各所にたくさんの学問所が開かれました。その背景に第八代将軍、徳川吉宗が行った享保の改革(1716～1745年)があります。吉宗は享保の改革のなかで、教育改革も行いました。それまで武士が学んでいた儒学や、産業振興に役立つ学問を庶民も学べるよう、積極的にすすめたのです。当時の学問所としてよく知られている場所の一つに平野の含翠堂があります。享保12年(1727年)5月、儒学者の伊藤東涯が含翠堂を訪れました。その際、八尾寺内村で肥料や油を商っていた豪商、石田善右衛門利清は、八尾の別邸に東涯を招き、学問仲間と一緒に教えを受けました。そのことを東涯自身が『初度含翠堂考』という書物に記しています。東涯が来講してから、この別邸が塾となり石田家や寺内村の学問の場になっていたようです。

3年後の享保15年(1730年)、石田善右衛門利清は東涯に塾の命名を依頼しました。当時、そこから高安山、二上山、金剛山など四方の山々を眺望できたことにちなみ、東涯は『環山楼』と命名します。そして扁額と『環山楼記』を揮毫しました。『環山楼記』の板額は現在も残っており、「青山一脈、高安より南走し、当麻 金剛に至るまで綿り亘ること幾んど百里にして断たず。(中略)因って之れに命づくるに環山を以てす。」と環山楼の名前の由来が綴られ、「主人は姓石田、亦読書の人なり。」と学問好きだった石田善右衛門利清についても書かれています。その後、環山楼はおよそ半世紀にわたり、八尾をはじめとする近郷の学問の拠点として重要な位置を占めたようですが、石田家の衰退とともにその役割を終えました。

元々、環山楼は八尾市役所の西側にありましたが昭和24年(1949年)に旧税務署庁舎新設のため東側へ移転します。また昭和28年(1953年)には道路整備事業のため、八尾小学校校庭南西の旧木造校舎の西に移転し、昭和56年(1981年)、プール新設のため現在の場所に落ち着きました。何度も移築か廃棄かの岐路に立たされてきた環山楼ですが、保存を希望する市内企業や篤志家からの浄財により、現在もその姿を残しています。



【写真】環山楼 八尾市観光協会データベースより

参考資料

『教育施設の建築的研究-私塾・環山楼の調査研究を中心として』1983年3月 桜井敏雄・松岡利郎/編
『八尾の学塾含環山楼主石田家資料』2002年5月 坂上弘子/著
『物語八尾の歴史』2016年3月 八尾市教育委員会生涯学習部文化財課市史編纂室/編
『新版八尾市史 近世資料編②』2019年3月 市史編纂委員会/編
八尾市観光協会データベース>> <http://www.yaomania.jp/data/index.asp> (2022年8月15日確認)

9月のTopics & Information



-Topics

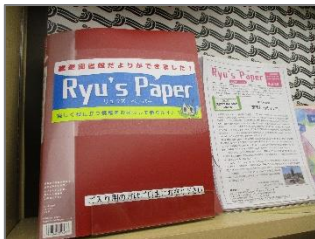


祝 Ryu's Paper 5周年!

龍華図書館の図書館だよりとして2017年9月1日に創刊してから「Ryu's Paper」は今月号で5周年を迎えました!

記念すべき創刊号の特集では、「龍華図書館周辺の石碑」として「^{かぶら や づか ゆみしるづか} 鎬矢塚・弓代塚」を取り上げ、その後も八尾の史跡や歴史、文化や特産物などについてご紹介してきました。また裏面では、龍華図書館を利用するみなさんが、より便利に楽しく図書館を活用できるよう、利用案内やイベント案内、受賞本の紹介といった、お役立ち情報も発信してきました。Ryu's Paperを通して、みなさんがもっと八尾の魅力を発見し、図書館の利用を楽しむお手伝いのできたなら幸いです。

バックナンバーは、龍華図書館1階の郷土資料コーナーにて、赤いファイルに保管してありますのでご自由にお持ちください。八尾電子図書館からも閲覧が可能です。右下のQRコードからぜひご覧くださいね。



-Information イベントのご案内

バリアフリー映画上映会

今回は『明日への遺言』を上映します。
どなたでも作品をお楽しみいただけます。

(出演:藤田まこと、富司純子 他)

バリアフリー上映会とは?

音声ガイドや字幕があり、ハンデをもった方も
そうでない方も楽しめる上映会です。

- ❖ 音声ガイド・日本語字幕つきで上映します。
- ❖ 補聴器をお使いの方は、
聴きとりやすい磁気ループを利用できます。
- ❖ 車イスの方は優先席があります。



- 日時...2022年9月19日(月・祝)
14:00~16:00(上映時間 110分)
- 場所...龍華コミセン3階 集会室
- 対象...どなたでも
- 定員...各40人(申込順)
- 申込...2022年9月1日(木) 9:00~
龍華図書館カウンター、電話、FAXにて受付。

※新型コロナウイルスの感染状況により、イベント内容の変更、または中止となる可能性があります。

今月の一冊はコレ!



「西洋菓子店フティ・フル」

(資料コード:710541277)

著:千早 茜 / 出版:文藝春秋



9月29日は、菓子職人の守護聖人である聖ミカエルの祝日であることから「洋菓子の日」に制定されているそうです。そこで今回は、洋菓子店を舞台にした本をご紹介します。

頑固なじいちゃん和下町の洋菓子店フティ・フルを営む職人肌のパティシエール亜樹。ときに激しくぶつかりながらも、お菓子づくりを通して成長していきます。登場するきらめくお菓子に思わずうっとりしてしまう一方で、フティ・フルのお菓子を求めて来店するお客様たちは、甘くも美しくもない人間関係を抱えていて...

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

